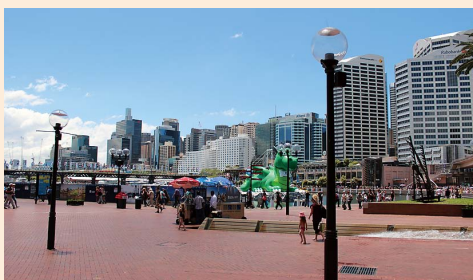


国際会議から 第10回世界鉄道研究会議 (WCRR2013)

世界鉄道研究会議 (WCRR : World Congress on Railway Research) は、1992年に鉄道総研が東京で開催した「鉄道総研国際講演会」が契機となり、その後、数年おきに鉄道にゆかりのある都市で開催されてきました。今回は、2013年11月24日～28日にオーストラリアのシドニーで開催されました。参加国は約30ヶ国、参加者は約550名、日本からの参加者は約90名とのことでした。また、11月26日～28日にかけて AusRAIL (WCRRのように展示会とセミナーからなるイベント) も同時に開催されたため、非常に多くの鉄道関係者が会場に集まりました。

発表形式は口頭発表とポスター発表です。いずれも鉄道に関する最新の研究成果が報告されました。鉄道総研からも口頭発表で13名が、ポスター発表で22名が報告を行いました。私も、集電系のアーク現象およびその検出方法



発表会場周辺



早坂高雅
電力技術研究部
電車線構造研究室
主任研究員

について口頭発表を行ってまいりました。

発表会場周辺は人々の憩いの場となっており、子供たちが自由に遊んでいる姿からもシドニーが比較的治安の良い場所であることを想像させてくれます。加えて、鉄道車両は、内装、外装ともにきれいで、夜の遅い時間だったにもかかわらず、安心して利用することができました。

次回のWCRRは、2016年にイタリア ミラノで開催される予定です。

正式名称 : World Congress on Railway Research
開催国 : オーストラリア(シドニー)
期間 : 2013/11/24～28
主催 : CRC (Cooperative Research Centre),
ARA (Australasian Railway Association)
開催頻度 : 数年毎
次回開催予定 : 2016年5月 イタリア
ホームページURL : <http://www.wcrr2013.org/>